

FIH Hockey Champions Trophy Changzhou 2018(中国／常州)

大会名	FIH Hockey Champions Trophy Changzhou 2018	日付	2018年11月17日
場所	Wujin Hockey Stadium	天候	曇り時々雨
試合	第1戦(予選リーグ)	通算結果	1戦 1敗

Country	RESULT	Country																
日本 JAPAN 世界ランキング14位	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>1P</td><td>0</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>2P</td><td>0</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>3P</td><td>1</td><td>-</td><td>1</td></tr> <tr><td>4P</td><td>0</td><td>-</td><td>2</td></tr> </table>	1P	0	-	0	2P	0	-	0	3P	1	-	1	4P	0	-	2	オランダ NETHERLANDS 世界ランキング1位
1P	0	-	0															
2P	0	-	0															
3P	1	-	1															
4P	0	-	2															

Start	No.	Name	備考
✓	1	景山 恵	GK
✓	2	内藤 夏紀	C
✓	3	小野 真由美	
6	4	松本 夏波	
✓	5	浅井 悠由	
✓	7	永井 葉月	
✓	8	真野 由佳梨	
✓	10	清水 美並	
4	12	永井 友理	
6	14	瀬川 真帆	
4	15	石橋 唯今	
✓	16	及川 栞	
4	19	森 花音	
✓	20	狩野 真美	
4	21	星 希巳加	
✓	22	河村 元美	
✓	29	尾本 桜子	
	30	吉川 由華	GK
ヘッドコーチ FARRY Anthony			
UMPIRE SUTTON Suzi (USA)			

Start	No.	Name	備考
31	1	VEENENDAAL Anne	GK
4	2	van LAARHOVEN Renee	
✓	6	LEURINK Laurien	
✓	7	de WAARD Xan	
4	11	VERSCHOOR Maria	
✓	13	van MAASAKKER Caia	
✓	16	ZERBO Ginella	
✓	18	SANDERS Pien	
✓	19	VEEN Marijn	
✓	20	NUNNINK Laura	
✓	21	STAM Lauren	
✓	22	KONING Josine	GK
✓	23	van GEFFEN Margot	
✓	24	de GOEDE Eva	C
6	25	KERSTHOLT Maxime	
7	27	JANSEN Yibbi	
7	28	ZUIDHOF Margot	
5	29	KREKELAAR Maartje	
ヘッドコーチ Annan Alyson			
UMPIRE CHEN Hong (China)			

Country	Min	Name	Action	Score
JPN	35	及川 栞	PC	1-0
NED	44	VEEN Marjin	FG	1-1
NED	56	VERSCHOOR Maria	FG	1-2
NED	59	VEEN Marjin	FG	1-3

Country	Min	Name	Action	Score

Wanglibao Hockey Champions Trophy Changzhou Wujin 2018初戦、さくらジャパンと世界ランキング1位で今夏のワールドカップチャンピオンのオランダ代表との対戦はオランダのセンターパスから開始される。

Q1 立ち上がりからオランダに押される展開となるが日本は動きはよく簡単に得点チャンスを与えない。12分、8番真野が左サイドから長いドリブルでオランダのDFを崩しPCを取得する。しかし、7番永井葉月のシュートはGKにセーブされる。14分にも日本が激しいプレスからボールを奪い2本目のPCを取得するがこれもオランダのDFに阻まれる。

Q2. 日本のボール支配率が少しずつ上がるもオランダのスピードとリーチに苦しむ。しかし、サークル侵入をされながら決定的な局面をオランダに創らせない。日本もサークルまで攻め込むもののフィールドシュートとPCを取れないまま前半が終了する。

Q3 35分、日本は左サイドから中央でパスを受けた#29尾本がサークルトップにドリブルで切り込みPCを取得する。これを16番及川がスィープで直接ゴール左下に決め先制点を挙げる。その後もオランダの攻撃を何とか凌ぎながら3Qを終わらせたい日本だったが44分に集中力が切れてしまいDFからのパスミスがオランダボールとなり、そのリスタートからの攻撃で決められ、1-1と追いつかれてしまう。

Q4 頑張っただけに粘った後に失点したせいか日本のDFの粘りがなくなり、相次いでサークルインされる流れになってしまう。そんな中、56分オランダのロングコーナーからサークルトップ中央からシュートされたボールを一度はGK景山がセーブするがそのリバウンドを押し込まれ逆転を許してしまう。また、59分にも日本のサークル内に流れてきたボールをレシーブミスし、オランダの選手に拾われてそのまま決められ2点のリードを許してしまう。日本は試合終了直前の59分にPCを取得するがサークルトップでのトラップミスで崩れてしまい、そのまま試合終了となる。第3Q終了まで粘りのゲームができたものの、世界最強のオランダの底力を見せつけられる結果となった。第2戦は開催国でもある中国との対戦となる。

日本	4	PC数	2		
	3	シュート数	10		オランダ